

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ
作成年月日：平成28年9月2日		

⑤地域活動の活性化 3-3-⑤

1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(3) 豊かな心を育てる社会教育の推進	⑤地域活動の活性化
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●団体の自主的・主体的な活動を助長しつつ、関係する社会教育事業の企画や運営を協働で行うことで、町民と交流する場を広げ、地域活動の活性化につながる団体支援に努めます。 ●学校支援ボランティアを含めた生涯学習サポーター制度を更に充実し、町民や学校等の多様な学習要求に対応できる人材の登録、養成、活用を図ります。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●本町の社会教育活動については、地域青年団、婦人会、PTA連合会を中心にそれぞれ自主的・主体的な活動に取り組んでいます。 ●生涯学習社会が進展する中、町民や学校などの多様な学習要求に対応する人材の登録や養成・活用を図ることが求められています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動を活性化させるためにはそれぞれの団体との連携・協力を深め、自主的・主体的な活動を支援することが必要です。 ●登録された人材の有効活用を図るための情報提供や他市町とのネットワーク化、資質向上を図るための研修機会が必要となります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化		
	・生涯学習の活性化を図るため、各分野で特技や知識を持った人材を各種の事業で指導者として活用するため、成果指標として設定している。			成果指標 (総合計画・施策評価)	○	可能		
				地域ボランティア登録者数		不可能		
				代替指標 ※成果指標がない場合		未計測	指標の設定	
					可能	不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由	
		H24	H25	H26	H27	H28		
目標	人	44	48	52	56	60	団体でボランティア登録している方が、更に個人でも登録したことによって、登録者が増加した。	
実績	人	48	63	56(内11団体)	61(内11団体)			
達成率	%	109.1	131.2	107.7	108.9			
B目標		平成26年度より 成果指標なし						
B実績								
B達成率								
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点		
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の 達成度	教育活動に対するボランティア活動が定着してきており、社会教育活動の中で、自らの経験や知識を活かした活動を行おうとする意識が浸透している。		
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)							
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				A			
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)							

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的業務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>	
					目標	実績					単位	H27実績		H28予算
					①8	②1								
1	社会教育関係団体支援事業	(1)	生涯学習課	実施事業数 ①青年団 ②PTA ③婦人会	①8		・補助金交付 ・事業等の支援	Ⅱ	Ⅱ	1 現状のまま継続	300	高い		
					②1						300			
2	地域ボランティア推進事業	(1)	生涯学習課	活動延人数	480	人	・各分野で、特技や技術、知識を持った人材を登録し、生涯学習講座や放課後子ども教室、学校支援事業等における指導者として活用する。 平成23年度より生涯学習サポーター活用事業に学校支援地域本部事業を加え、地域ボランティア推進事業として一元化して実施している。	Ⅰ	Ⅰ	1 現状のまま継続	131	高い		
					805	人					158			
3														

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	431
H28予算	458

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	中学校の部活動の縮小などにより、ボランティアの派遣要請が減少しているものの、生涯学習社会が進展する中で、各種の技術や特技を持っている人材を発掘・登録し、各事業や地域活動に活用することや社会教育関係団体の支援を行うことで地域活動の活性化を進める観点から妥当である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。		事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
	A									
	B	1		2					拡大	
	C								○ 維持	
	D								縮小	